避難施設関係者連絡会実施報告書

1 実施日時　　2023年7月18日(火)　14:00～15:30

2 連絡会の場所(会場)　南大谷小学校 旧パソコンルーム

3 出席者

学校　役職 小学校長　役職 小学校副校長
役職 中学校副校長

防災課　2名

指定職員　7名

市民　12名

組織名南大谷町内会 人数1 名

組織名松風台自治会 人数1 名

組織名鞍掛台自治会 人数2名

組織名成瀬町内会 人数2 名

組織名南大谷団地自治会 人数1名

組織名玉川学園町内会 人数1 名

組織名 玉川学園南台自治会 人数1 名

組織名 西成瀬高台自治会 人数1 名

組織名玉川学園第8地区自主防災隊 人数1名

組織名高瀬住宅自治会 人数1名

4　打合せ内容

(1)挨拶

(2)開設訓練の日程について

(3)防災課の取り組みについて

(4)データベース読み合せ

(5)質疑応答

5　議事録(連絡会の中で出た主な意見や意見交換内容など)

(2)開設訓練の日程について

自主防:9月9日(土)を考えている。例年通りであれば日中の時間に予定しているが、暑さの影響等も考慮して、夕方(16時ころ)の実施に変更するのはいかがだろうか。内容についてはファミリールーム(パーテーションのような区切り)やエアベッド等をグループに分けて、そのグループごとに体験する予定である。避難所の受付の方法(要配慮者・自治会未加入者)についても確認が必要マンホールトイレ、バルーン投光器のデモンストレーションも行う。暑さの関係もあるため、9月の開催には拘らず、10月以降の開催も考えている。

自主防:9月下旬～10月中旬の日曜日などはどうか

小学校長:学校の開放委員会があり、外部団体の使用予約を受け付けしているため、既に予定を入れている団体に入り、断りを入れる必要がある。10月後半には運動会があり、校庭等は使用できない。

防災課:10月8．15．22のいずれの日程で調整するのはどうか。

夜間訓練の実施については、他地域で実施したことがあるが、周りも暗く、日中とは勝手が違うことから、機材の利用方法をマスターしたうえで、訓練の狙いをあらかじめ定めてから行うことが重要である。

自主防:今回の訓練の規模や時間については、どの程度のものを予定しているか。

自主防:規模的には参加者100名前後、時間は最低でも3時間(受付には最低1時間必要)と考えている。

自主防：日程と時間をあらかじめ決めてから訓練の内容については追って決めていくのはどうか。

日程については10月21日（土）の16時～19時で仮決定。体育館や校庭等を使用予定（使用可能かどうか最終的には学校に確認を行う）内容についてはこれから詰めていく。

（3）防災課の取り組みについて

①防災フェスタ 2023

7月22日（土）10：00～15：30　町田シバヒロで開催

②アウトドア×防災講演会

7月28日（金）10：30～12：00　市民フォーラムで開催

（4）データベース読み合せ

P6の「4. 収容可能人数」の記載は 3.3m²に2人だったが、コロナの取り扱いの変更により、4m²に1世帯となっている。（あくまで目安であり、絶対的な数字ではない。）

自主防：連絡会について、小学校と中学校合同で開催しているが、どちらに避難するかは決まっているか。

防災課：最初は小学校に避難してもらい、避難者の数に応じて中学校の避難所も開設することを予定している。なお、この点についてはマニュアルにはまだ明記されていない。

（マニュアルに追記する予定）

避難施設は、第一段階としてまず南大谷小学校開設し、避難者数増加に伴って収容しきれない場合は、第二段階として南大谷中学校を避難施設として開設するものとする。

南大谷小学校のみ開設している段階においては、南大谷中学校の指定職員は、南大谷中学校の正門にて、避難してきた避難者を南大谷小学校で受付するよう案内する。

自主防：避難所の開錠は誰が行うのか。

防災課：指定職員が行う。

自主防：西日本の水害時には、指定職員が避難所に到着できず、鍵を壊して入らざるを得ない状況があった。セキュリティの問題もあるが、複数人が開錠できる体制を整えておくべきではないか。

防災課：校内にキーボックスがあり、暗証番号を入れれば開けることができる。指定職員がいないと

開錠できないというわけではない。

(5)質疑応答

自主防:非常用発電の設備について誰が操作を熟知しているか。

防災課:電気の供給がストップすると自動的に非常用電源が動くため、特段の操作は必要ない。

ガス緊急遮断弁が作動した時については、指定職員が、ガスメーターにある復旧ボタンを押し、

ガス緊急遮断弁を復旧する。